



球根の水さいばいのとき、なぜ黒い紙で根をおおうの

根が出やすいように暗くする

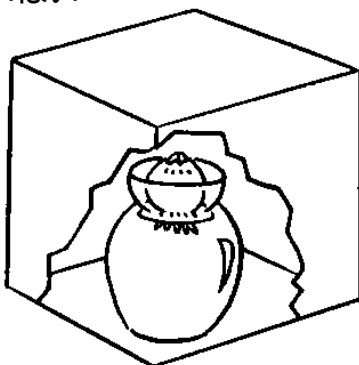
種や球根は、しめり気があって暗いと発根する、という性質があります。また、出てきた根は暗いほど良く成長します。根の出る部分のまわりを、黒いものでおおうのはそのためです。また、球根ではありませんが、取り木するとき、根を出させるために傷つけた茎の部分に、ミズゴケを巻きつけ、その上を黒い布でしばります。これも同じことで、暗くして根を早く出させるためです。

根が出ると、球根の上からは葉がのびてきます。この部分まで、黒い紙でおおってはいけません。

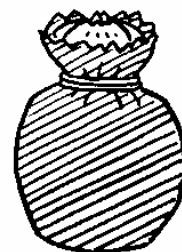
根の性質

根は、また、下に向かってのびるという性質もあります。球根はどんな植え方をしても、根はしぜんと、地面の方向に向きを変えてのびていきます。芽は反対に、地上に向かってのびていきます。（監修・中山 周平）

球根の水さいばい



根が出るまで箱の中に入れる



根の出る部分を黒いものでおおう

